

第 62 回 岐阜市中小企業景況調査結果

1 調査要領

- (1) 調査時期 令和 6 年 1 月
- (2) 調査依頼企業数 300 企業
- (3) 調査対象期間 令和5年 7 - 12月期実績(今期)
令和6年 1 - 6月期見通し(来期)
- (4) 回答状況 有効回答数 172 企業
有効回答率 57.3 %

《業種別内訳》

業 種	依頼数	回答数	回答率
農林漁業	1	1	100.0%
製造業	36	20	55.6%
建設業	32	20	62.5%
情報通信業	2	0	0.0%
運輸業、郵便業	5	3	60.0%
卸売業、小売業	82	57	69.5%
金融業、保険業	6	4	66.7%
不動産業、物品賃貸業	22	14	63.6%
学術研究、専門・技術サービス業	13	6	46.2%
宿泊業、飲食サービス業	26	12	46.2%
生活関連サービス業、娯楽業	25	8	32.0%
医療、福祉業	20	13	65.0%
サービス業(他に分類されないもの)	30	14	46.7%
合 計	300	172	57.3%

(5) 調査事項

- ① 売上高(受注高) ② 採算水準
③ 製品(商品)在庫 ④ 資金繰り
⑤ 借入難易度 ⑥ 設備投資
⑦ 経営上の問題点 ⑧ 業況判断
⑨ 従業員の充足状況
⑩ 事業継続力強化計画
⑪ 事業承継
- ⑫ インボイス制度
⑬ DX(デジタル・トランスフォーメーション)
⑭ SDGs(持続可能な開発目標)
⑮ 新型コロナウイルス関連融資
⑯ 物価高騰

※⑫～⑯は特別調査

2 調査結果概要

景況は回復傾向だが、先行きは不透明	
○	業況判断DIは前期比で11.0ポイント改善して▲14.5となったが、来期は7.6ポイント悪化する見込み。業種別にみると、特に「運輸業、郵便業」、「生活関連サービス業、娯楽業」で改善している。一方、特に悪化しているのは「製造業」、「建設業」となった。
○	業況判断以外では、採算水準、資金繰り、借入難易度の各DIが上昇。製品在庫のDIが横ばい、売上高のDIが下降となった。
○	採算水準DI(7.6)は令和元年7月の調査以来、8期ぶりに黒字企業数が赤字企業数を上回った。
【特別調査】	
○	インボイスについて、「適格請求書発行事業者」へ「登録した」とする企業は83.0%となった。また、インボイス導入に伴う経理事務等の対応状況について、「順調に対応できている」とする企業は76.6%、「やや遅れている」又は「遅れている」とする企業は16.3%となった。
○	DX(デジタル・トランスフォーメーション)について、「取組中・取組予定」とする企業は25.0%となり、前期より1.2ポイント増加した。また、DXの推進に向けた課題について、「必要がない」、「成果が見込めない」、「理由が不明」という理由でDX推進に必要性を感じない企業が全体の37.5%となり、前期の38.3%より減少した。
○	新型コロナウイルス関連融資について、「返済に不安がある」とする企業は35.1%、「借り換えなどの返済額の見直しを実施」・「検討している」とする企業は合わせて40.5%となり、どちらも前期と比べて増加した。
○	物価高騰について、「影響を受けている」とする企業は80.1%となり、「現時点では受けていないが、今後影響が見込まれる」の16.4%と合わせると96.5%となり、全業種で影響を受けている。一方、価格転嫁については、「全く価格転嫁できていない」が33.6%と最も多く、前期の29.2%より増加した。

＜備考＞	前期:R5年1-6月 (R5上期)
	今期:R5年7-12月 (R5下期)
	来期:R6年1-6月 (R6上期)

(1)全体の景況

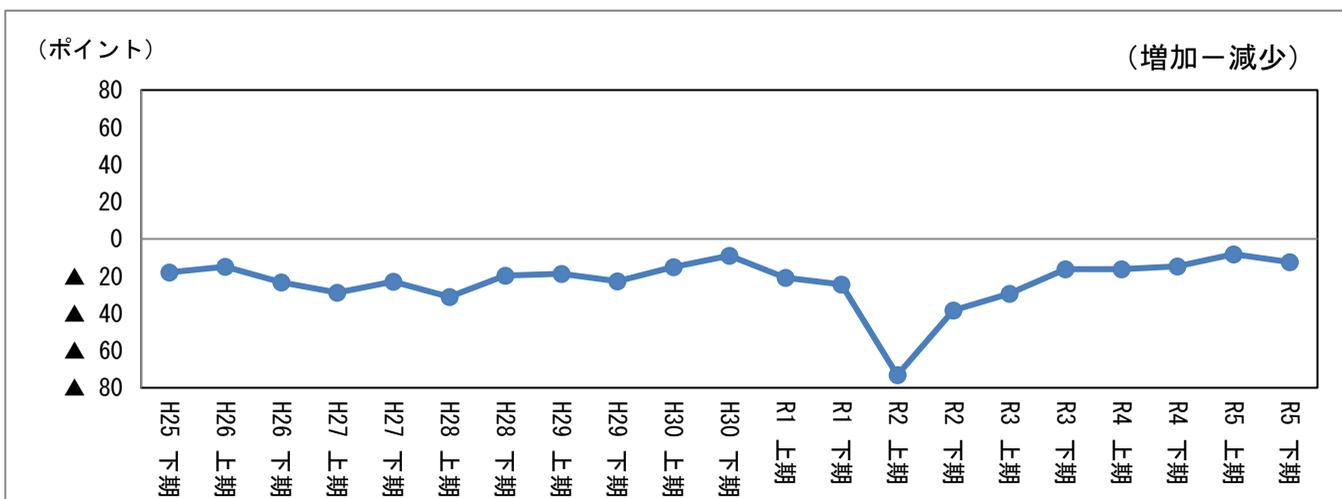
①売上高(受注高)

- 売上高について、「増加」とする企業は26.3%で、前期の28.6%から2.3ポイント減少した。
- 「減少」とする企業は37.4%で、前期の36.8%から0.6ポイント増加した。
- DI値は、2.9ポイント低下して▲11.1となり、来期は9.3ポイントの低下が見込まれる。

図表1-1 売上高DI値

	増加	横ばい	減少	DI	DI値 前期比
前期 (R5年 1 - 6月)	28.6%	34.6%	36.8%	▲ 8.2	6.6 ↑
今期 (R5年 7 - 12月)	26.3%	36.3%	37.4%	▲ 11.1	▲ 2.9 ↓
来期見込 (R6年 1 - 6月)	11.6%	56.4%	32.0%	▲ 20.4	▲ 9.3 ↓

図表1-2 売上高DI値の推移



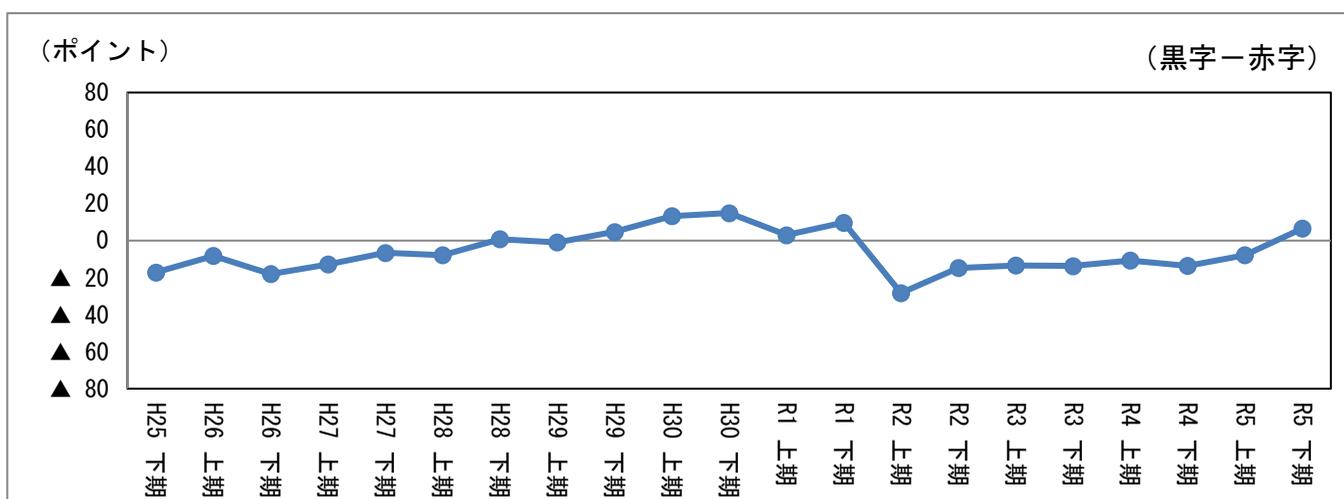
②採算水準

- 採算水準について、「黒字」とする企業は37.4%で、前期の28.7%から8.7ポイント増加した。
- 「赤字」とする企業は29.8%で、前期の36.5%から6.7ポイント減少した。
- DI値は、15.4ポイント上昇して7.6となり、来期は7.6ポイントの低下が見込まれる。

図表2-1 採算水準DI値

	黒字	収支均衡	赤字	DI	DI値 前期比
前 期 (R5年 1 - 6月)	28.7%	34.8%	36.5%	▲ 7.8	5.8 ↑
今 期 (R5年 7 - 12月)	37.4%	32.8%	29.8%	7.6	15.4 ↑
来期見込 (R6年 1 - 6月)	27.9%	44.2%	27.9%	0.0	▲ 7.6 ↓

図表2-2 採算水準DI値の推移



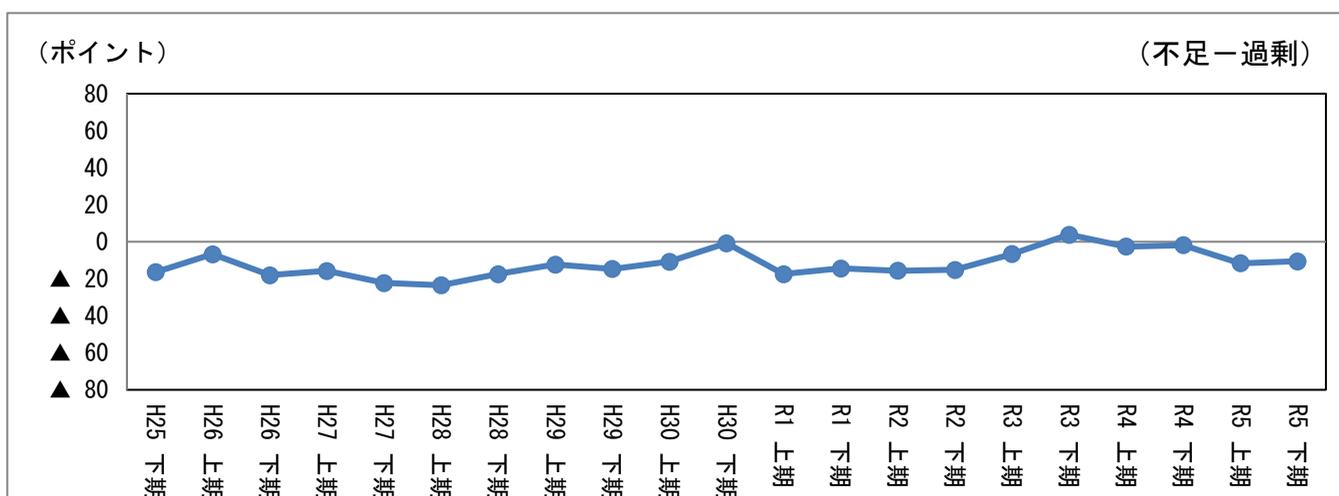
③製品（商品）在庫

- 製品（商品）在庫について、「不足」とする企業は6.5%で、前期の6.7%から0.2ポイント減少した。
- 「過剰」とする企業は18.2%で、前期の18.3%から0.1ポイント減少した。
- 「過剰」とする企業が「不足」とする企業を11.7ポイント上回っている。

図表3-1 在庫DI値

	不足	適正	過剰	不足-過剰	DI値 前期比
前 期 (R5年 1 - 6月)	6.7%	75.0%	18.3%	▲ 11.6	▲ 9.8 ↓
今 期 (R5年 7 - 12月)	6.5%	75.3%	18.2%	▲ 11.7	▲ 0.1 ↓

図表3-2 在庫DI値の推移



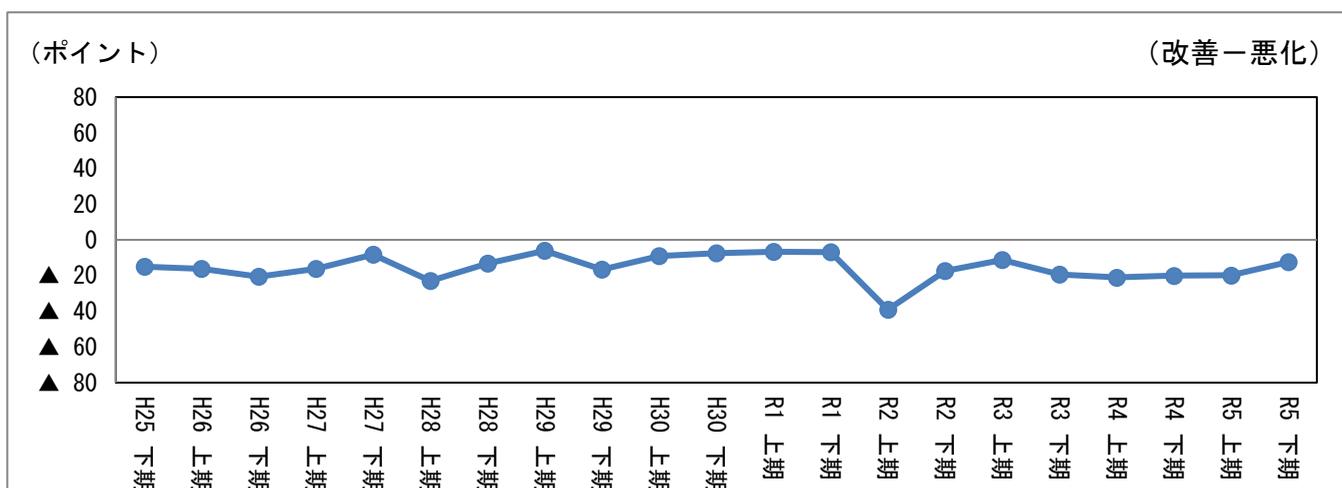
④資金繰り

- 資金繰りについて、「楽になった」とする企業は7.6%で、前期の7.7%から0.1ポイント減少した。
- 「苦しくなった」とする企業は20.5%で、前期の27.6%から7.1ポイント減少した。
- DI値は、7.0ポイント改善して▲12.9となった。

図表4-1 資金繰りDI値

	楽になった	変わらない	苦しくなった	DI	DI値 前期比
前 期 (R5年 1 - 6月)	7.7%	64.7%	27.6%	▲ 19.9	0.2 ↑
今 期 (R5年 7 - 12月)	7.6%	71.9%	20.5%	▲ 12.9	7.0 ↑
来期見込 (R6年 1 - 6月)	5.8%	70.8%	23.4%	▲ 17.6	▲ 4.7 ↓

図表4-2 資金繰りDI値の推移



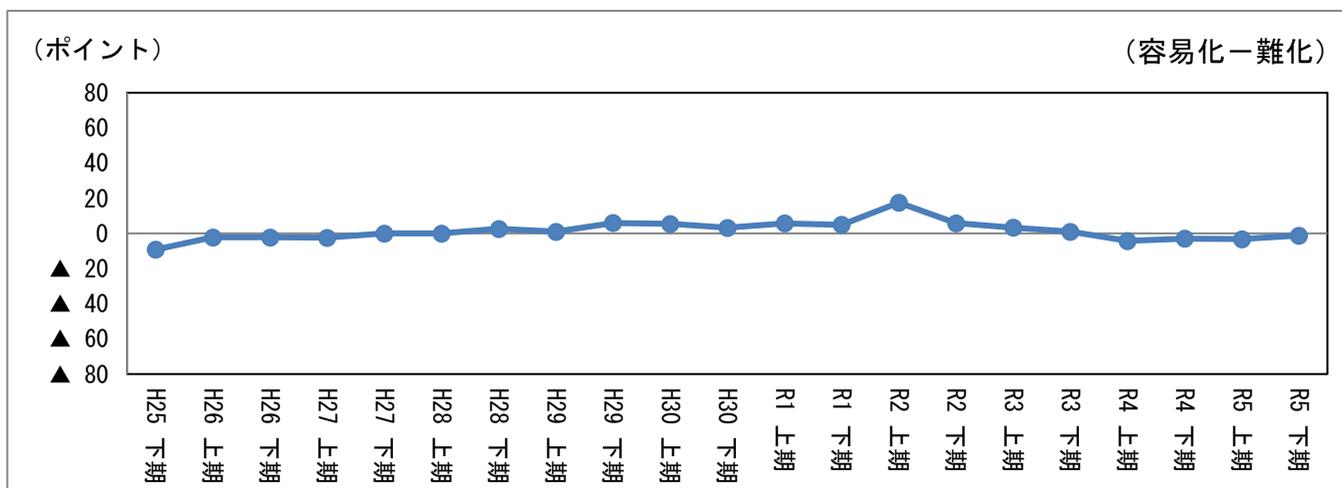
⑤借入難易度

- 借入について、「容易になった」とする企業は4.7%で、前期の2.8%から1.9ポイント増加した。
- 「難しくなった」とする企業は6.4%で、前期の6.1%から0.3ポイント増加した。
- DI値は、1.6ポイント改善して▲1.7となった。

図表5-1 借入難易度DI値

	容易になった	変わらない	難しくなった	DI	DI値 前期比
前 期 (R5年 1 - 6月)	2.8%	91.1%	6.1%	▲ 3.3	▲ 0.3 ↓
今 期 (R5年 7 - 12月)	4.7%	88.9%	6.4%	▲ 1.7	1.6 ↑

図表5-2 借入難易度DI値の推移



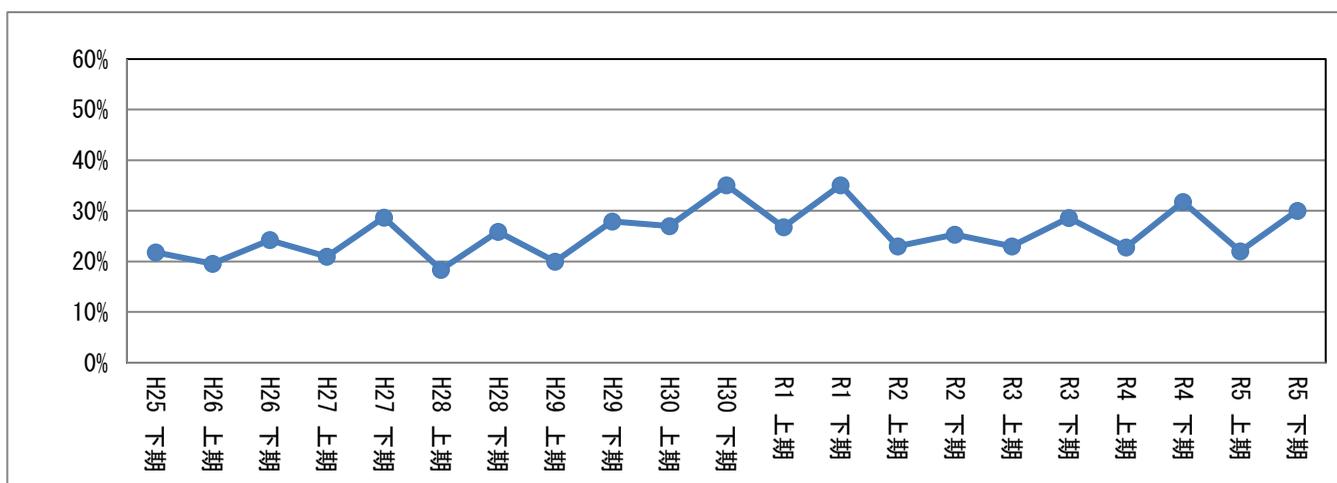
⑥設備投資

- 設備投資を「行った」とする企業は29.7%で、前期の22.0%から7.7ポイント増加した。
- 「行わなかった」とする企業は70.3%で、前期の78.0%から7.7ポイント減少した。

図表6-1 設備投資率

	行った	前期比	行わなかった
前 期 (R5年1 - 6月)	22.0%	▲ 9.8% ↓	78.0%
今 期 (R5年7 - 12月)	29.7%	7.7% ↑	70.3%
来期見込 (R6年1 - 6月)	24.4%	-	75.6%

図表6-2 設備投資率の推移



⑦経営上の問題点

(別紙)

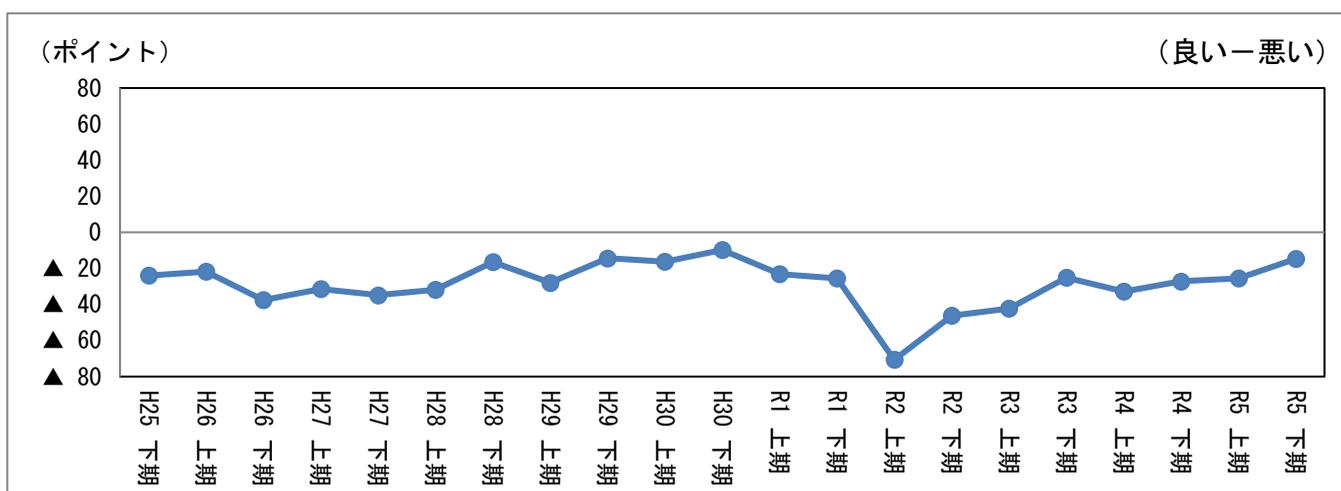
⑧業況判断

- 業況が「良かった」とする企業は25.6%で、前期の18.4%から7.2ポイント増加した。
- 「悪かった」とする企業は40.1%で、前期の43.9%から3.8ポイント減少した。
- DI値は、11.0ポイント改善して▲14.5となり、来期は7.6ポイント悪化すると予想される。

図表8-1 業況判断DI値

	良かった	良悪なし	悪かった	DI	DI値 前期増減
前 期 (R5年 1 - 6月)	18.4%	37.8%	43.9%	▲ 25.5	1.7 ↑
今 期 (R5年 7 - 12月)	25.6%	34.3%	40.1%	▲ 14.5	11.0 ↑
来期見込 (R6年 1 - 6月)	15.7%	46.5%	37.8%	▲ 22.1	▲ 7.6 ↓

図表8-2 業況判断DI値の推移



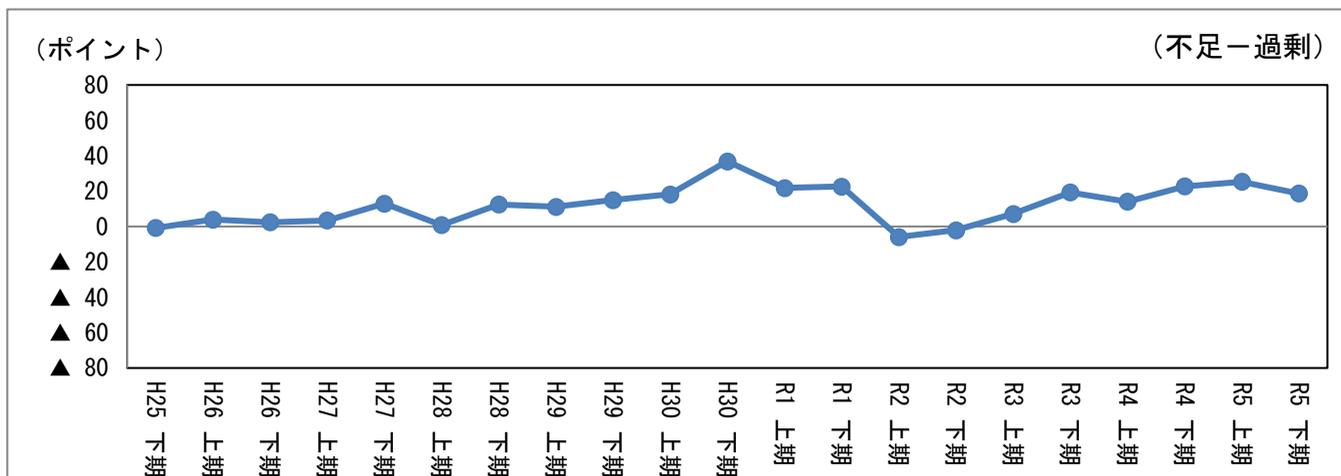
⑨従業員の充足状況

- 従業員数が「不足」とする企業は25.6%で、前期の32.0%から6.4ポイント減少した。
- 「過剰」とする企業は6.0%で、前期の6.7%から0.7ポイント減少した。
- 「不足」とする企業が「過剰」とする企業を19.6ポイント上回っている。

図表9-1 従業員の充足状況DI値

	不足	適正	過剰	不足-過剰	DI値 前期増減
前 期 (R5年 1 - 6月)	32.0%	61.2%	6.7%	25.3	2.6 ↑
今 期 (R5年 7 - 12月)	25.6%	68.5%	6.0%	19.6	▲ 5.7 ↓

図表9-2 従業員の充足状況DI値の推移



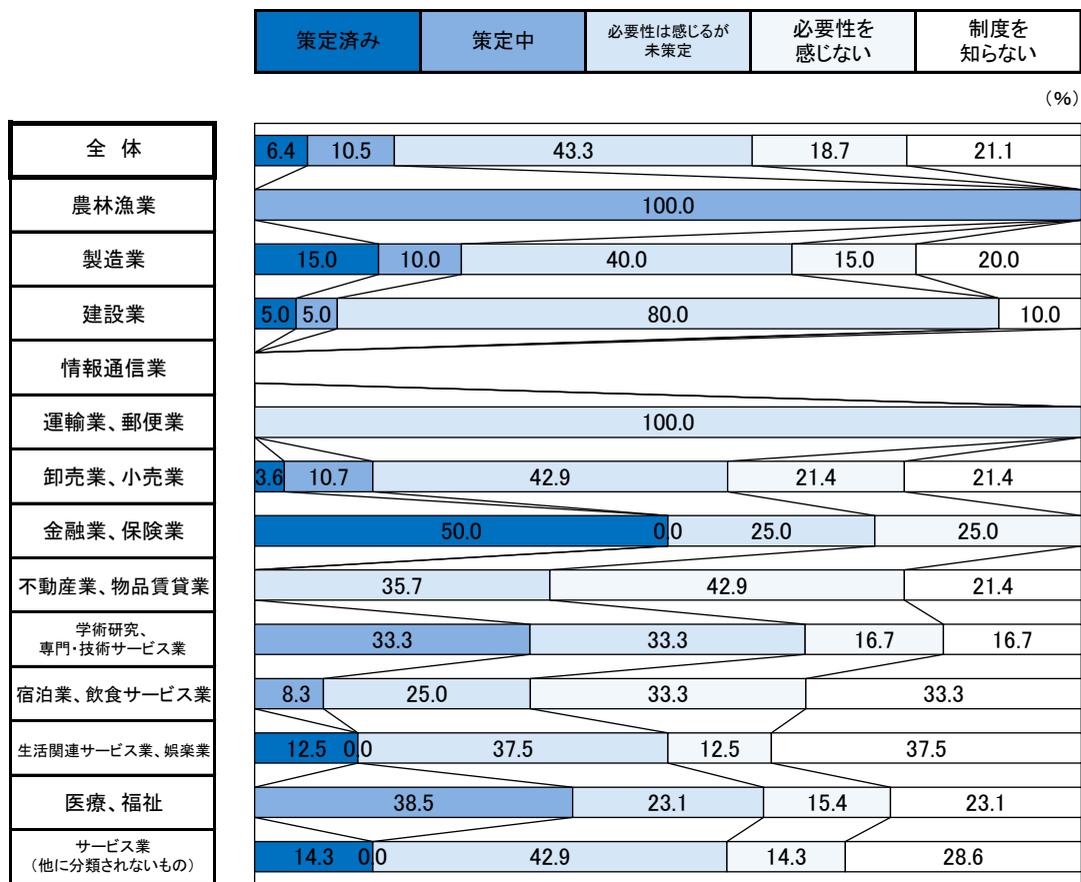
⑩事業継続力強化計画について

- 事業継続力強化計画について、「策定済み」又は「現在策定中」とする企業は16.9%となった。
また、「必要性を感じない」又は「制度を知らない」とする企業は39.8%となった。

図表10-1 事業継続力強化計画の策定状況

策定状況	企業構成比
策定済み	6.4%
現在策定中	10.5%
必要性を感じているが策定していない	43.3%
必要性を感じない	18.7%
制度を知らない	21.1%

図表10-2
業種別 事業継続力強化計画の策定状況



⑪事業承継について

- 事業承継について、「後継者を決定している」とする企業は42.4%となった。
また、「後継者を探している」とする企業は9.7%、「廃業予定」とする企業は19.4%となった。

図表11-1 事業承継について

事業承継について	企業構成比
後継者を決定している	42.4%
後継者を探している	9.7%
廃業予定	19.4%
その他	28.5%

～特別調査～

⑫インボイス制度

- インボイス制度にかかる「適格請求書発行事業者」への登録申請状況について、「登録した」とする企業が83.0%、「登録しなかった」とする企業は17.0%となった。
- インボイス導入に伴う経理事務等の対応状況について、「順調に対応できている」とする企業は76.6%、「対応がやや遅れている」、又は「大幅に遅れている」とする企業は16.3%であった。
- インボイス導入による現在、又は今後の懸念事項について、「業務負担の増加」の41.3%が最も多く、次いで「仕入れ先への対応」の20.0%、「社内での理解・連携不足」の15.2%の順となった。

図表12-1 インボイス制度にかかる「適格請求書発行事業者」への登録申請状況

登録申請状況	企業構成比
登録した	83.0%
登録しなかった	17.0%

図表12-2 経理事務等の対応状況

対応状況	企業構成比
順調に対応できている	76.6%
対応がやや遅れている	14.9%
対応が大幅に遅れている	1.4%
分からない	7.1%

図表12-3 現在、又は今後の懸念事項

懸念事項	企業構成比
業務負担の増加	41.3%
仕入れ先への対応	20.0%
社内での理解・連携不足	15.2%
請求書の受領時のミス	14.8%
販売先への対応	6.1%
その他	2.6%

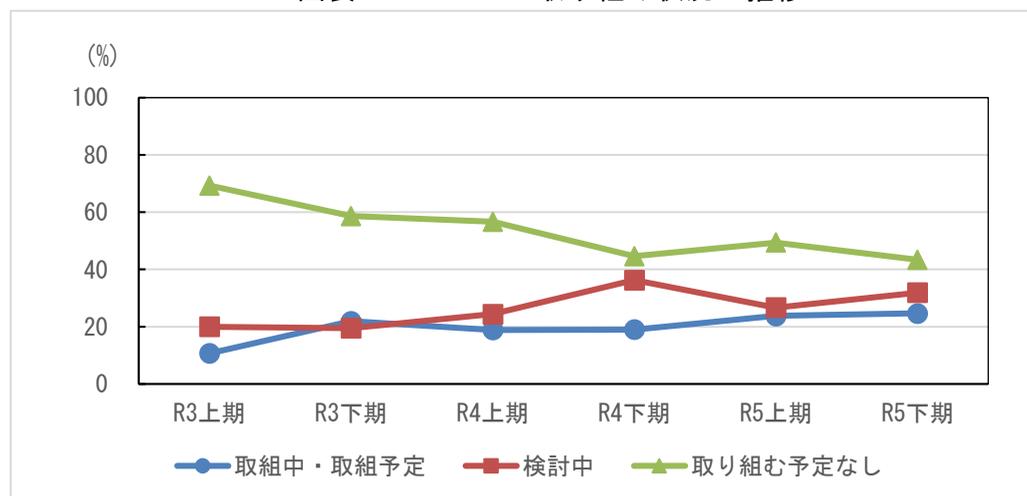
⑬DX (デジタル・トランスフォーメーション)

- DXについて、「取組中・取組予定」とする企業は25.0%となり、前期の23.8%より1.2ポイント増加した。
- DXの推進に向けた課題について、「必要なスキル・ノウハウがない」の23.7%が最も多く、次いで「人材が不足している」の19.7%となった。
また、「必要がない」、「成果が見込めない」、「理由が不明」という理由でDX推進に必要性を感じない割合が、全体の37.5%となった。

図表13-1 DXへの取り組み状況

	取組中・取組予定	検討中	予定なし
前 期 (R5年 1 - 6月)	23.8%	26.7%	49.4%
今 期 (R5年 7 - 12月)	25.0%	31.5%	43.5%

図表13-2 DXへの取り組み状況の推移



図表13-3 DX推進に向けた課題

課題	企業構成比	前期比 (前期値)
必要なスキル・ノウハウがない	23.7%	1.7% ↑ (22.0%)
人材が不足している	19.7%	0.2% ↑ (19.5%)
予算が確保できない	14.5%	▲2.2% ↓ (16.7%)
必要がないと考えている	13.5%	▲0.3% ↓ (13.8%)
成果が見込めない	13.5%	0.6% ↑ (12.9%)
デジタル化に向かう理由が不明	10.5%	▲1.1% ↓ (11.6%)
公的な相談窓口が分からない	2.3%	0.7% ↑ (1.6%)
その他	2.3%	0.4% ↑ (1.9%)

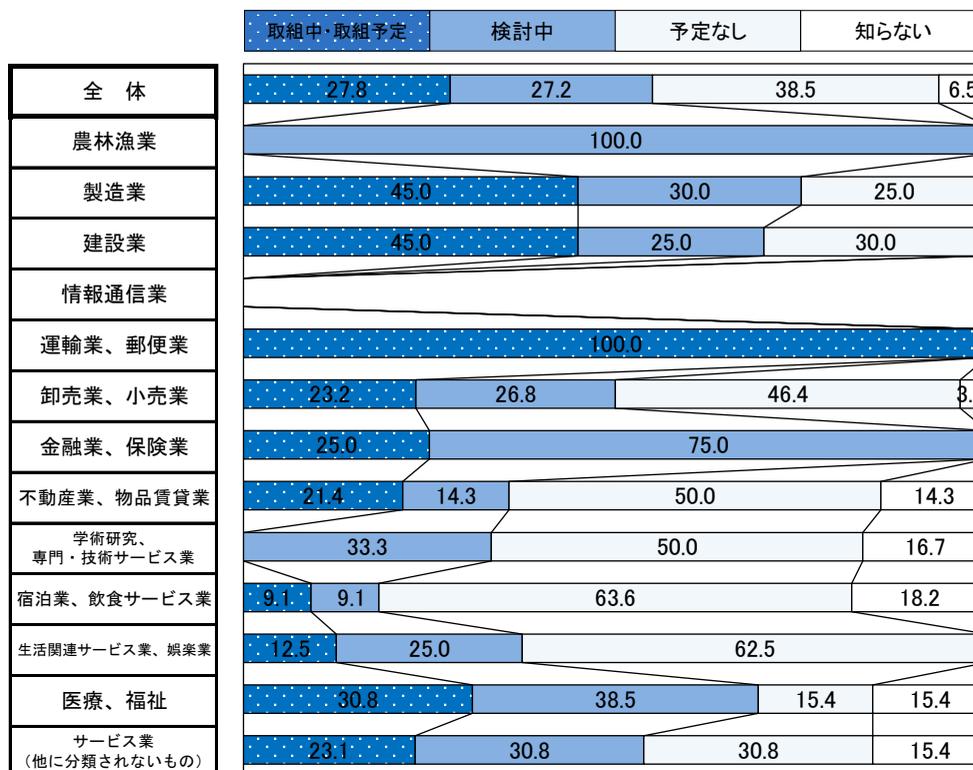
⑭SDGs（持続可能な開発目標）

- SDGsについて、「取り組んでいる・取り組みを予定している」とした企業の27.8%が最も多く、「検討している」とする企業の27.2%と合わせると55.0%となった。
また、「取り組む予定はない」とした企業は38.5%となった。
- 業種別にみると、「取組中・取組予定」とする企業の割合は「運輸業・郵便業」の100%が最も高く、次いで「製造業」及び「建設業」の45.0%となった。
- SDGs導入に関する目的について、「企業の社会的責任」の34.8%が最も多く、次いで「企業イメージの向上」の23.2%となった。
- SDGs推進に向けた課題について、「メリットが分からない」の17.4%が最も多く、次いで「何から取り組めばよいか分からない」の16.7%となった。

図表14-1 SDGsの取組状況

対応状況	企業構成比
取り組んでいる・取り組みを予定している	27.8%
検討している	27.2%
取り組む予定はない	38.5%
SDGsについて知らない	6.5%

図表14-2 業種別の取り組み状況



図表14-3 SDGs導入に関する目的

導入目的	企業構成比
企業の社会的責任	34.8%
企業イメージの向上	23.2%
従業員のモチベーション向上	9.6%
取引先との関係強化	9.1%
優秀な人材の確保	8.6%
新たな事業機会の獲得	7.6%
新製品・サービスの開発	4.0%
資金調達力の強化	0.5%
その他	2.5%

図表14-4 SDGsの推進に向けた課題

今後の課題	企業構成比
メリットが分からない	17.4%
何から取り組めばよいか分からない	16.7%
SDGsや取組方法に関する情報が少ない	12.1%
目標の設定方法が分からない	10.3%
SDGsに取り組んでいないので分からない	8.9%
特に課題はない	8.2%
取り組むための人員が不足	7.1%
社会的認知度が高まっていない	6.4%
取り組むための資金が不足	5.0%
社内の理解度が低い	5.0%
その他	2.8%

⑮新型コロナウイルス関連融資

- 新型コロナウイルス関連融資の借入状況について、「現在借りている」が42.4%、「既に全額返済した」とする企業が4.7%となった。
 - 返済状況について、「当初の融資条件どおり、全額返済できる」とする企業が63.5%となり、前期の50.6%から12.9ポイント増加した。
 - 借換状況について、「借り換えなどの返済額の見直しを実施した」とする企業が13.0%となり、前期の5.9%から7.1%増加し、「借り換えなどの返済額の見直しを検討している」とした企業の27.5%と合わせると40.5%となった。
- また、「返済に不安がある」とする企業のうち、返済額の見直しを実施・検討している企業の割合は57.7%となり、半数を超えた。

図表15-1 新型コロナウイルス関連融資の借入状況

借入状況	企業構成比	前期比
現在借りている	42.4%	0.6% ↑
既に全額返済した	4.7%	0.7% ↑
借りていない	52.4%	▲0.1% ↓
不明	0.6%	-

図表15-2 新型コロナウイルス関連融資の返済状況

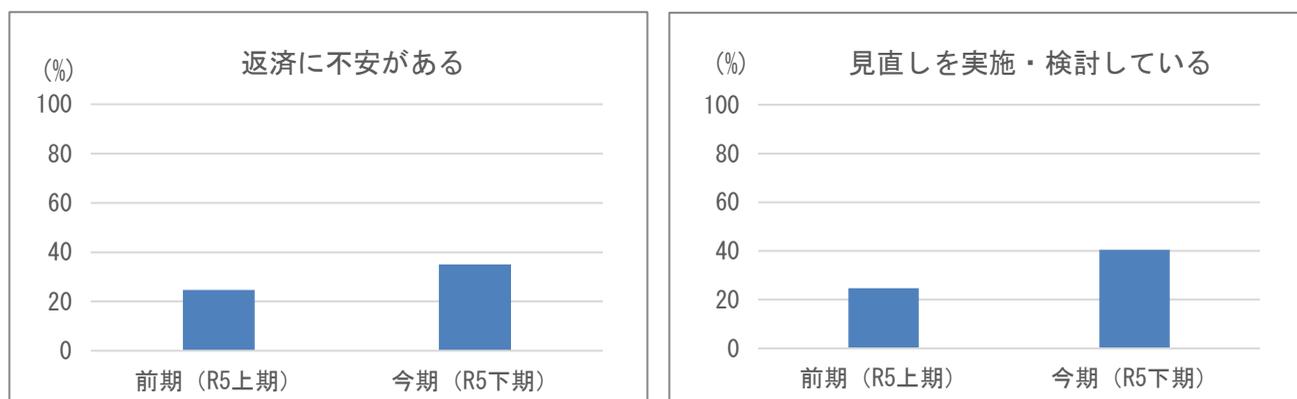
返済状況	企業構成比	前期比 (前期値)
当初の融資条件どおり、全額返済できる	63.5%	12.9% ↑ (50.6%)
返済に不安がある	35.1%	10.4% ↑ (24.7%)
その他	1.4%	-

図表15-3 新型コロナウイルス関連融資の借換状況

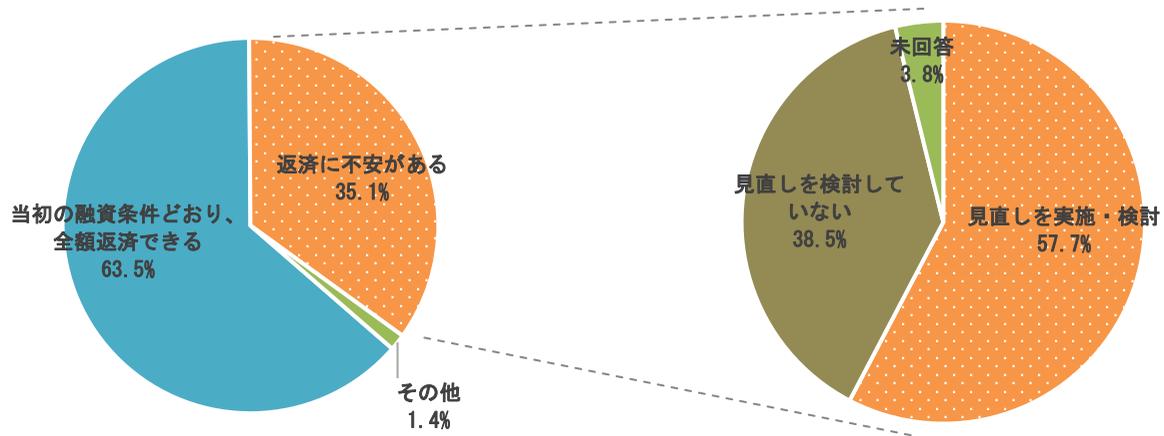
借換状況	企業構成比	前期比 (前期値)
借り換えなどの返済額の見直しを実施した	13.0%	7.1% ↑ (5.9%)
借り換えなどの返済額の見直しを検討している	27.5%	8.7% ↑ (18.8%)
借り換えなどの返済額の見直しを検討していない	55.1%	-
その他	4.3%	-

※「借り換えなどの返済額の見直しを検討していない」はR5下期より新規追加項目

図表15-4 前期比較



図表15-5 「返済に不安がある」とする企業の借換状況



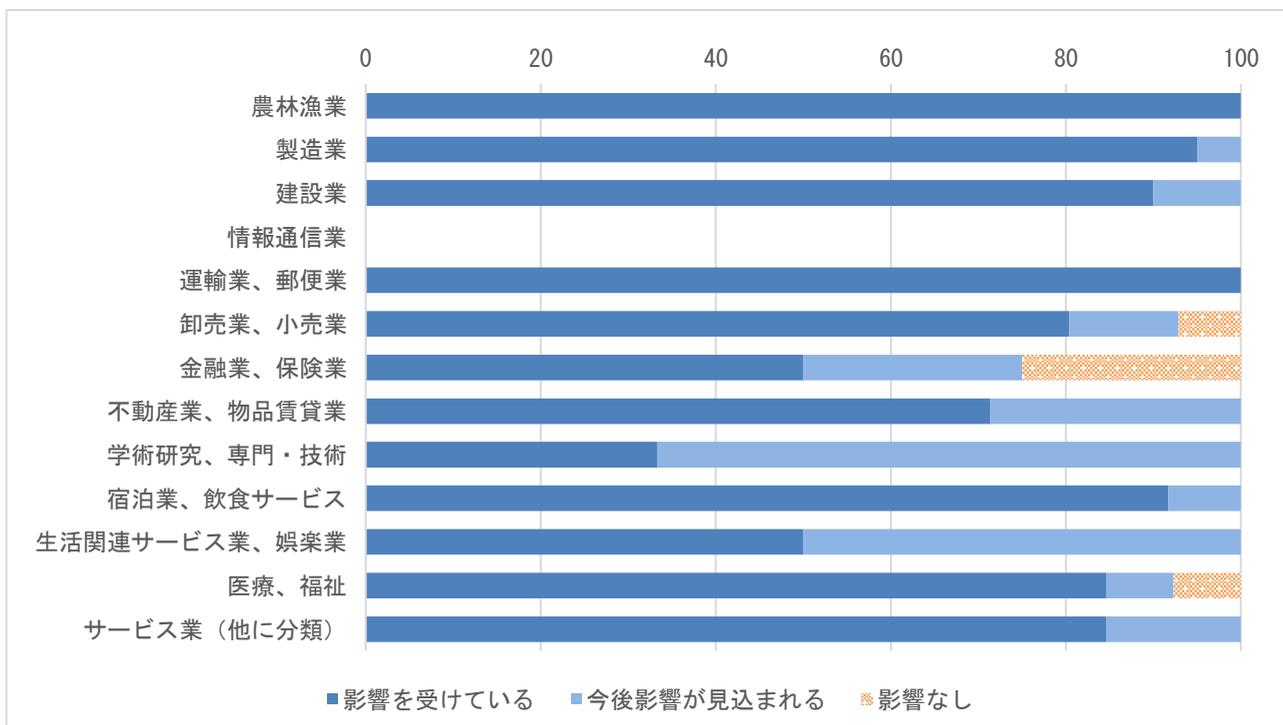
⑯物価高騰

- 物価高騰について、「影響を受けている」とする企業は80.1%となり、「現時点では受けていないが、今後影響が見込まれる」とする企業の16.4%と合わせると96.5%となり、全業種で影響を受けている。
- 物価高騰に伴うコスト増の価格転嫁状況について、「全く価格転嫁できていない」とする企業の33.6%が最も多く、次いで「5割以上8割未満」の22.9%、「2割未満」の16.4%の順となった。一方、「10割(全額価格転嫁できている)」とする企業は10.0%となった。
- 価格転嫁ができない理由について、「消費者から理解が得られない」の32.4%が最も多く、次いで「取引企業から理解が得られない」の23.1%、「自社の交渉力」の18.1%の順となった。

図表16-1 物価高騰の影響

物価高騰の影響	企業構成比
影響を受けている	80.1%
現時点では受けていないが、今後影響が見込まれる	16.4%
影響はない	3.5%

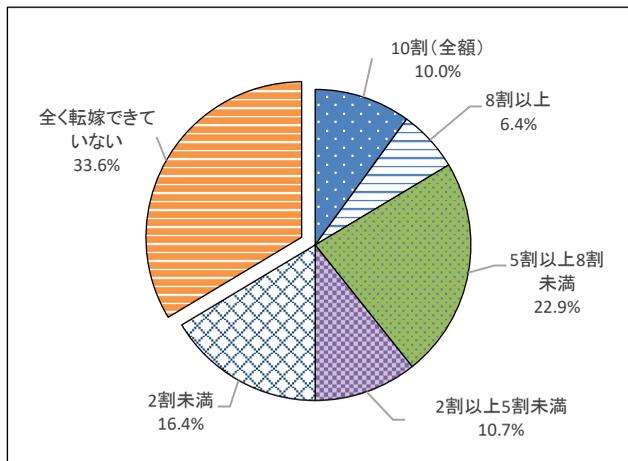
図表16-2 【業種別】物価高騰の影響



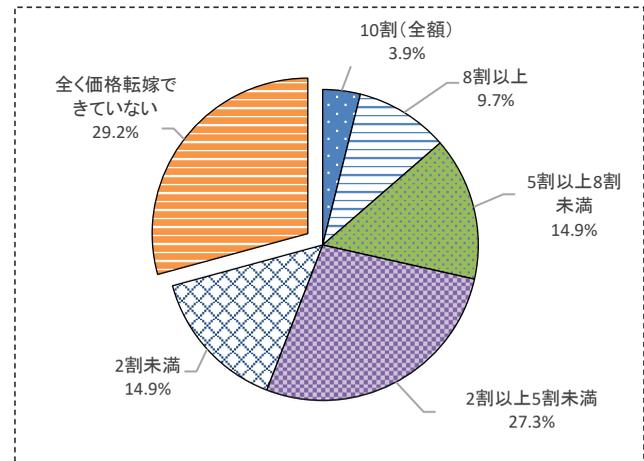
図表16-3 物価高騰に伴うコストの価格転嫁状況

価格転嫁の状況	企業構成比	前期比 (前期値)
全く価格転嫁できていない	33.6%	4.4% ↑ (29.2%)
5割以上8割未満	22.9%	8.0% ↑ (14.9%)
2割未満	16.4%	1.5% ↑ (14.9%)
2割以上5割未満	10.7%	▲16.6% ↓ (27.3%)
10割(全額価格転嫁できている)	10.0%	6.1% ↑ (3.9%)
8割以上	6.4%	▲3.3% ↓ (9.7%)

図表16-4 【価格転嫁状況】今期 (R5下期)



図表16-5 【価格転嫁状況】前期 (R5上期)



図表16-6 価格転嫁できない理由

理由	企業構成比
消費者から理解が得られない	32.4%
取引企業から理解が得られない	23.1%
自社の交渉力	18.1%
交渉自体が行えない	14.3%
複数年契約など、契約の制限があるため	4.9%
不当な要請がある	1.1%
その他	6.0%

⑦経営上の問題点

「全体」

	1位	2位	3位	4位	5位
前期	仕入単価上昇 49.5%	従業員不足 29.1%	人件費増加 28.0%	民間需要停滞 22.0%	価格競争激化 19.8%
今期	仕入単価上昇 38.4%	人件費増加 31.4%	民間需要停滞 23.3%	従業員不足 22.7%	光熱費高 22.1%

「農林漁業」

	1位	1位	1位		
前期	価格競争激化 100.0%	人件費増加 100.0%	仕入先からの値上要請 100.0%		
今期	価格競争激化 100.0%	人件費増加 100.0%	光熱費高 100.0%		

「製造業」

	1位	2位	3位	4位	4位
前期	仕入単価上昇 40.0%	価格競争激化 36.0%	従業員不足 32.0%	人件費増加 28.0%	仕入先からの値上要請 28.0%
今期	仕入単価上昇 70.0%	価格競争激化 25.0%	人件費増加 25.0%	光熱費高 25.0%	民間需要停滞 20.0%

「建設業」

	1位	2位	3位	4位	5位
前期	仕入単価上昇 50.0%	熟練技術者確保難 45.5%	従業員不足 40.9%	人件費増加 31.8%	価格競争激化 27.3%
今期	仕入単価上昇 45.0%	従業員不足 40.0%	熟練技術者確保難 35.0%	価格競争激化 30.0%	人件費増加 30.0%

「情報通信業」

	1位	1位	1位		
前期	官公需要停滞 100.0%	従業員不足 100.0%	仕入先からの値上要請 100.0%		
今期					

「運輸業、郵便業」

	1位	2位	2位	2位	2位
前期	人件費増加 100.0%	民間需要停滞 50.0%	仕入単価上昇 50.0%	間接費増加 50.0%	従業員不足 50.0%
今期	人件費増加 66.7%	従業員不足 66.7%	間接費増加 33.3%	熟練技術者確保難 33.3%	仕入先からの値上要請 33.3%

「卸売業、小売業」

	1位	2位	3位	3位	5位
前期	仕入単価上昇 63.2%	民間需要停滞 31.6%	取引先減少 24.6%	従業員不足 24.6%	価格競争激化 21.1%
今期	仕入単価上昇 45.6%	民間需要停滞 36.8%	光熱費高 26.3%	取引先減少 22.8%	人件費増加 22.8%

「金融業、保険業」

前期	1位	1位	1位	1位	1位
	人件費増加 50.0%	間接費増加 50.0%	熟練技術者確保難 50.0%	設備狭小・老朽化 50.0%	税負担増加 50.0%
今期	1位	2位	3位	3位	3位
	人件費増加 100.0%	光熱費高 75.0%	価格競争激化 25.0%	民間需要停滞 25.0%	間接費増加 25.0%

「不動産業、物品賃貸業」

前期	1位	2位	2位	4位	4位
	民間需要停滞 35.7%	新規参入者増加 28.6%	仕入単価上昇 28.6%	大企業進出による 競争激化 21.4%	価格競争激化 21.4%
今期	1位	2位	2位	4位	4位
	販売数量の伸び悩み 35.7%	民間需要停滞 28.6%	税負担増加 28.6%	大企業進出による 競争激化 21.4%	光熱費高 21.4%

「学術研究、専門・技術サービス業」

前期	1位	2位	3位	3位	3位
	税負担増加 50.0%	取引先減少 33.3%	新規参入者増加 16.7%	価格競争激化 16.7%	官公需要停滞 16.7%
今期	1位	1位	1位	1位	5位
	取引先減少 33.3%	税負担増加 33.3%	後継者難 33.3%	光熱費高 33.3%	新規参入者増加 16.7%

「宿泊業、飲食サービス業」

前期	1位	2位	3位	3位	3位
	人件費増加 64.7%	仕入単価上昇 58.8%	従業員不足 29.4%	仕入先からの値上要請 29.4%	税負担増加 29.4%
今期	1位	2位	3位	3位	3位
	仕入単価上昇 41.7%	人件費増加 33.3%	民間需要停滞 25.0%	従業員不足 25.0%	光熱費高 25.0%

「生活関連サービス業、娯楽業」

前期	1位	2位	2位	2位	5位
	仕入単価上昇 60.0%	人件費増加 20.0%	設備狭小・老朽化 20.0%	後継者難 20.0%	価格競争激化 13.3%
今期	1位	1位	3位	3位	3位
	価格競争激化 37.5%	従業員不足 37.5%	新規参入者増加 25.0%	仕入単価上昇 25.0%	熟練技術者確保難 25.0%

「医療、福祉業」

前期	1位	2位	3位	3位	5位
	従業員不足 55.6%	仕入単価上昇 44.4%	新規参入者増加 33.3%	人件費増加 33.3%	税負担増加 22.2%
今期	1位	2位	3位	3位	5位
	人件費増加 61.5%	従業員不足 46.2%	新規参入者増加 30.8%	仕入単価上昇 30.8%	光熱費高 23.1%

「サービス業（他に分類されないもの）」

前期	1位	2位	3位	4位	4位
	従業員不足 63.6%	仕入単価上昇 36.4%	人件費増加 27.3%	民間需要停滞 18.2%	熟練技術者確保難 18.2%
今期	1位	2位	3位	4位	4位
	人件費増加 64.3%	設備狭小・老朽化 35.7%	従業員不足 28.6%	仕入単価上昇 21.4%	光熱費高 21.4%

(2)業種別の景況

① 農林漁業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	▲ 100.0	100.0	-	0.0	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0
今 期	▲ 100.0	100.0	-	0.0	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
来期見通し	▲ 100.0	0.0	-	0.0	-	▲ 100.0	▲ 100.0	-

② 製造業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	8.0	20.0	▲ 12.0	4.0	0.0	-20.0	▲ 8.3	13.0
今 期	▲ 25.0	10.0	5.0	0.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 30.0	10.0
来期見通し	▲ 25.0	10.0	-	▲ 10.0	-	▲ 10.0	▲ 30.0	-

③ 建設業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	▲ 9.1	4.6	-	0.0	4.6	▲ 27.2	▲ 13.6	68.2
今 期	▲ 35.0	5.0	-	▲ 15.8	0.0	▲ 10.0	▲ 20.0	55.0
来期見通し	▲ 30.0	0.0	-	▲ 26.3	-	▲ 60.0	▲ 35.0	-

④ 情報通信業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	▲ 100.0	0.0	-	0.0	0.0	-100.0	0.0	100.0
今 期	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
来期見通し	0.0	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0	-

⑤ 運輸業、郵便業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	▲ 50.0	100.0	-	0.0	0.0	0.0	▲ 100.0	50.0
今 期	▲ 66.7	100.0	-	0.0	0.0	100.0	0.0	33.3
来期見通し	▲ 66.7	100.0	-	0.0	-	33.4	0.0	-

⑥ 卸売業、小売業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	▲ 5.3	▲ 15.7	▲ 21.4	▲ 29.8	0.0	▲ 72.0	▲ 29.9	10.7
今 期	▲ 7.0	▲ 7.1	▲ 17.6	▲ 21.1	1.8	▲ 61.4	▲ 33.4	7.0
来期見通し	▲ 22.8	▲ 3.5	-	▲ 15.8	-	▲ 68.4	▲ 24.5	-

⑦ 金融業、保険業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	50.0	▲ 50.0	-	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0
今 期	▲ 25.0	25.0	-	▲ 25.0	0.0	▲ 100.0	50.0	▲ 50.0
来期見通し	▲ 25.0	0.0	-	0.0	-	▲ 100.0	0.0	-

⑧ 不動産業、物品賃貸業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	▲ 42.8	▲ 7.2	-	▲ 14.3	▲ 7.1	▲ 85.8	▲ 35.7	23.1
今 期	▲ 30.8	35.7	-	0.0	7.1	▲ 71.4	7.2	16.7
来期見通し	▲ 35.7	▲ 21.5	-	▲ 21.5	-	▲ 57.2	▲ 28.5	-

⑨ 学術研究、専門・技術サービス業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	▲ 33.4	▲ 33.3	-	▲ 33.3	0.0	▲ 100.0	▲ 50.0	0.0
今 期	16.7	16.6	-	33.3	▲ 16.7	0.0	0.0	0.0
来期見通し	16.7	16.7	-	16.6	-	0.0	16.7	-

⑩ 宿泊業、飲食サービス業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	35.3	▲ 29.4	-	▲ 17.6	▲ 6.3	▲ 53.0	▲ 5.8	23.5
今 期	16.7	▲ 33.3	-	▲ 41.7	8.3	▲ 33.4	▲ 8.4	27.3
来期見通し	▲ 8.3	▲ 41.7	-	▲ 50.0	-	▲ 50.0	▲ 0.1	-

⑪ 生活関連サービス業、娯楽業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	▲ 26.7	▲ 64.3	-	▲ 57.1	▲ 7.1	▲ 86.6	▲ 50.0	0.0
今 期	25.0	25.0	-	0.0	0.0	▲ 75.0	12.5	42.9
来期見通し	▲ 12.5	0.0	-	▲ 12.5	-	▲ 75.0	▲ 25.0	-

⑫ 医療、福祉業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	▲ 44.4	44.5	-	▲ 11.1	▲ 22.2	▲ 55.6	▲ 22.2	66.7
今 期	▲ 53.8	23.0	-	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 38.4	▲ 23.1	38.5
来期見通し	▲ 7.7	30.7	-	▲ 15.4	-	▲ 23.0	▲ 23.1	-

⑬ サービス業（他に分類されないもの）

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	0.0	0.0	-	▲ 27.3	▲ 9.1	▲ 27.2	▲ 27.3	45.5
今 期	50.0	14.3	-	0.0	▲ 7.2	▲ 28.6	35.7	35.7
来期見通し	0.0	0.0	-	▲ 21.5	-	▲ 57.2	▲ 14.3	-